

8章 プレゼンテーション力

年 組 番 氏名

今回の授業の位置づけ

- 探究活動に必要なプレゼンテーションを体験する機会とする。

ねらい

- 相手に伝えることの大切さを学ぶ。
- 発表の形式や意義、方法を理解する。

準備(5分)

- ① プリント配布。
- ② **課題3**で2人グループ，**課題5**で4人グループとなる。
- ③ **課題3**で使用するプリント (このプリントは課題3のときに配布)

課題1(5分)〈個人課題①〉資料を読んで理解

(1) ねらい

- ① 発表の基礎的な意義を知る。

(2) 内容

- ① 各自が以下の〈資料①〉を読む。

〈資料①〉

1. 発表することの意義

他者との対話は人間の成長と密接な関係がある。自分ひとりの力だけでは考えが広がらなかったり、新しいアイデアが思いつかなかったりする。そこで、発表を通して他者と対話をするすることで、多様な視点や新しいアイデアを得ることができ、自分自身の成長につながる。また、他者に伝えることを通して、自分の考えを整理したり、まとめたりすることでより理解が深まる。

発表は決して一方通行ではなく、聞き手もクリティカルシンキング(批判的思考力)をはたらかせながら内容を聞き、疑問に思ったことや研究内容をよりよくするためにどうしたらよいかなどの意見を伝え、発表者と聴衆の間で意見交換することが大切です。

このような対話を有意義なものするためには、伝える力やプレゼンテーション能力を磨く必要がある。

2. 発表の種類と特徴

発表にはさまざまな形式がある。教室などに集まった人にスライドなどを使って、講演のように話す一斉形式（口頭発表）と、壁やパネルなどにポスターや紙を貼り、聞き手が発表者の前に集まるたびに説明を行う個別形式（ポスター発表）がある。

いずれの場合についてもどのような場所でどれくらいの人数に向けて発表するか、持ち時間はどれくらいかを事前に把握し、必ず準備やリハーサルをして発表に臨むようにしましょう。また、相手に自分の言いたいことが伝わるようにしなければなりません。



口頭発表



ポスター発表

課題2 (15分) 〈個別課題②〉 わかりやすい説明の順序

(1) ねらい

①説明の順序は分かりやすさと関係していることを学ぶ。

(2) 内容

①A さんと B さんの説明の文章を読んでの説明の違いを考え、記述する。

②周囲の人と考えた内容を共有する。

ハワイの中心都市はオアフ島のホノルルで、人種構成は、だいたいを白人、日系人、ポリネシア系先住民が占めています。東京から約 6,000km 離れた太平洋にある大きな島 8 つと小さな島約 100 個で構成されている島のことをハワイといっています。ハワイの基本情報としては、このほかにも、さまざまな人種の人々が集まっているため、ハワイは複合民族の島といわれていることが挙げられます。

A くん



ハワイの基本的な説明をします。ハワイは、東京から約 6,000km 離れた太平洋にあり、大きな島 8 つと小さな島約 100 個で構成されています。中心都市はオアフ島のホノルルです。人種構成は、白人、日系人、ポリネシア系先住民が多くを占めています。そのほかにもさまざまな人種の人々が集まっているため、ハワイは複合民族の島といわれています。

B さん



A ちゃんと B さんの説明の違いは何でしょう？

課題 3 (25 分) 〈グループ課題①〉 言葉だけで相手に情報を伝えなければならない難しさを体験

(1) ねらい

- ①言葉だけで相手に情報を伝えなければならない難しさを知る。
- ②一方的に説明した場合と質問されながら説明場合との伝わり方の違いについて体験する。

(2) 内容

- ①2人組となり、それぞれが別々の図形が描かれたプリントを配布される。
- ②プリントに描かれた図形を相手に伝える。次の A, B の条件で伝達を行い、聞いている人は説明者の言葉のみの情報で図形を描く。両方の条件が終わったら答あわせをする。

A. 言葉だけで伝達(質問不可) (目安2分)

B. 言葉だけの対話式伝達(質問可) (目安2分)



聞き手 説明者

- ③説明者と聞き手を入れ替えて行う。
- ④下の空欄に一方的に説明した場合と質問した場合との伝わり方の違いについて気づいたこと記載する。

(3) 注意点

- ①プリントに描いてある図が見えないように配布する。クリップボードなどがあるとよい。
- ②説明者と聞き手は視覚的な情報がいらないように、聞き手は前を向き、説明者のみが横を向いて説明する。
(可能ならば背中合わせがよいが、声が聞き取りづらくなってしまう可能性がある)

伝達された情報によって描いた図形

A. 言葉だけで伝達(質問不可)

B. 言葉だけの対話式伝達(質問可)

一方的に説明した場合と質問した場合との伝わり方の違いについて気づいたことを書きなさい。

課題 4(5 分) 〈個人課題③〉 資料を読んで理解

(1) ねらい

①プレゼンテーションを行うための基礎的な内容を知る。

(2) 内容

①各自が以下の〈資料②〉を読む。

〈資料②〉

1. 発表のしかた

発表者は伝えたい内容が相手に的確に伝わるように工夫をしなければならない。発表が苦手な人でも練習を重ねたり、場数を踏んだりすれば、不安を取り除くことができ、必ず上達する。

発表においてはいくつかポイントがあるため、それを心がけながら練習を行う。まずは大きな声ではっきりと話すことが最も重要である。また、早口になると聞いているほうは理解しづらいので、話す間をおく。テンションを上げ、相手に伝えたい、理解してほしいという意気込みで臨むようにする。服装や身だしなみ、発表の姿勢も大切である。明るい表情やアイコンタクトなど原稿だけではなく相手の様子も見ながら発表を行い、身振り手振りやジェスチャーなどをおりまぜるとよい。

また、聴衆も相手をしっかりと見たり、うなずいたりするなど傾聴の姿勢が大切である。

プレゼンテーションをするときのポイント

アイコン
タクト
視線

声の
大きさ

話す間



ジェス
チャー

姿勢
表情

話す
スピード
声の抑揚

×よくないプレゼン

原稿を棒読み

原稿しか見ていない。

発表することに夢中で聞く側の反応にまで目を向けられていない。

発表者の声が小さく、表情が暗い。

内容がまとまっておらず何を言いたいのか理解できない。

課題 5(25 分) 〈グループ課題②〉プレゼンテーションを行う。

(1) ねらい

①プレゼンテーションをするときのポイントに注意して、プレゼンテーションを体験する。

(2) 内容

①4 人グループとなり、次の資料 A, B, C に書いてある内容から 1 つ選び、ほかの 3 人にプレゼンテーションする。まずは、誰がどの文章を担当するかを決める。(4 人グループなので、A, B, C のうち 1 人は他の人と同じ資料をプレゼンテーションする。)

②3 分程度時間を取り、資料を読み、どのようにプレゼンテーションするかをイメージする。

③各自 1 分程度でプレゼンテーションを行う。

聞いている人はプレゼンテーションしている人がどんなポイントを使っているか想像しながら、じっくり聞く。

④各発表後 2 分程度でどのような点がよかったかを聞いている人から、意見を聞いたり、どんなポイントでプレゼンテーションをしていたかなどの意見交換を行う。

資料 A

2050 年に日本人の平均寿命は、男性で 84.9 歳、女性は 90.3 歳である。2050 年までに新たに 566 万人の高齢者が増える。都市では、2.5 人に 1 人が 65 歳以上、4 人に 1 人が 75 歳以上。100 歳以上人口は 2015 年の 5 万 3000 人から 44 万 1000 人に増えるといわれている。

◎声の大きさ

◎ジェスチャー

◎アイコンタクト・視線

◎姿勢・表情

◎話すスピード、声の抑揚

◎話す間

資料B

地球で一番危ないのは高層ビルのガラスでしょう。

だから雲母^{うんも}に変えたらどうだろう。雲母はひびも入らないし、落ちてても割れない。もちろん光も通すし、いろいろな色にもできる。断熱作用が非常に強く、100℃くらいに熱しても反対側は手で触っても平気である。更にガラスより薄くて軽く、ビル全体の重量を相当節約できるのである。

◎声の大きさ

◎ジェスチャー

◎アイコンタクト・視線

◎姿勢・表情

◎話すスピード、声の抑揚

◎話す間

資料C

私たちが地球という惑星全体の運命を考える際には、何が危険にさらされているのかをしっかりと見極めなければならない。地球の平均気温は15℃であり、今後の気温上昇をあと1℃におさえるのか、3℃まで許すのかによって、数十万種の生物と数十億人の人間の運命が決まる。

◎声の大きさ

◎ジェスチャー

◎アイコンタクト・視線

◎姿勢・表情

◎話すスピード、声の抑揚

◎話す間

参考文献

山田剛史, 林創『大学生のためのリサーチリテラシー入門』ミネルヴァ書房, 2011年

後藤芳文他『学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』玉川大学出版部, 2014年

小川洋子『科学のドアをノックする』集英社, 2008年

酒井聡樹『これから研究をはじめる高校生と指導教員のために』共立出版, 2016年

『nippon.com 高齢化の世界最先端を走る日本が向かう未来』<https://www.nippon.com/ja/features/c02816/>



振り返り 〈リフレクションシートの記入及び回収〉

プレゼンテーション力 リフレクションシート

年		組		番号		氏名	
---	--	---	--	----	--	----	--

1 日時： ____月____日（ ） ____校時

2 振り返り

Q1：言葉のみによる情報の伝達を行うときに、注意しなければならなかったことを述べよ。

--

Q2：今回取り組んだ内容について、疑問に思ったことやもっと知りたいと感じたことについて述べよ。

--

以下、該当する番号のマークを塗りつぶしてください。

Q3 今回の課題に、あなたはどのように関わりましたか。 ①積極的にできた ②まあまあ取り組めた ③うまく参加できなかった	①	②	③			●
Q4 今回の授業の難易度はどうでしたか。 ①易しかった ②ちょうど良かった ③難しかった	①	②	③			●
Q5 今回の授業の時間設定はどうでしたか。 ①時間が余ってしまった ②ちょうどよかった ③時間が足りなかった	①	②	③			●



教師用資料 8章 プレゼンテーション力【授業デザイン】

今回の授業の位置づけ

- 探究活動に必要なプレゼンテーションを体験する機会とする。

ねらい

- 相手に伝えることの大切さを学ぶ。
- 発表の形式や意義、方法を理解する。

時間	ねらい・内容・留意点
準備 (5分)	①プリント配布。 ② 課題3 で2人グループ、 課題5 で4人グループとなる。 ③ 課題3 で使用するプリント <u>(このプリントは課題3のときに配布)</u>
課題1 (5分)	〈個人課題①〉 資料を読んで理解 (1) ねらい ①発表の基礎的な意義を知る。 (2) 内容 ①各自が〈資料①〉を読む。
課題2 (15分)	〈個人課題②〉 わかりやすい説明の順序 (1) ねらい ①説明の順序は分かりやすさと関係していることを学ぶ。 (2) 内容 ①AくんとBさんの説明の文章を読んだでの説明の違いを考え、記述する。 ②周囲の人と考えた内容を共有する。 Aくん ハワイの中心都市はオアフ島のホノルルで、人種構成は、だいたいを白人、日系人、ポリネシア系先住民が占めています。東京から約 6,000km 離れた太平洋にある大きな島 8 つと小さな島約 100 個で構成されている島のことをハワイといっています。ハワイの基本情報としては、このほかにも、さまざまな人種の人々が集まっているため、ハワイは複合民族の島といわれていることが挙げられます。 Bさん ハワイの基本的な説明をします。ハワイは、東京から約 6,000km離れた太平洋にあり、大きな島 8 つと小さな島約 100 個で構成されています。中心都市はオアフ島のホノルルです。人種構成は、白人、日系人、ポリネシア系先住民が多くを占めています。そのほかにもさまざまな人種の人々が集まっているため、ハワイは複合民族の島といわれています。

	(3) 留意点 課題終了後等に以下の解答例を示してもよい。 A さんと B さんの説明の違いは何でしょう？ ・A さんは概要(国の位置)が詳細(都市の位置)のあとに説明されており、わかりにくい ・A さんは人種構成の説明が2ヶ所に分断されわかりにくい ・B さんは最初に話の目的と概要がわかる ・B さんは説明の前半に地理的説明(大きい情報)、後半に人種構成の説明(小さい情報)をもってきており、話に流れがある 《説明する順序の参考》 1. 表現は相手の知識レベルに合わせる。 既知から未知へ（相手が知っていること→知らないこと） 2. 重要度の高いもの、テーマや結論から述べる。 3. 全体像を説明してから詳細を説明（大きい方から小さいほうへ） 4. 前提となる情報を先に提示 5. 図を説明するときにはルールに従う（左→右、上→下など）
課題 3 (25 分) 1コマ目 終了↓	〈グループ課題①〉 言葉だけで相手に情報を伝えなければならない難しさを体験 (1) ねらい ①言葉だけで相手に情報を伝えなければならない難しさを知る。 ②一方的に説明した場合と質問されながら説明場合との伝わり方の違いについて体験する。 (2) 内容 ①2人組となり、それぞれが別々の図形が描かれたプリントを配布される。 ②プリントに描かれた図形を相手に伝える。次の A, B の条件で伝達を行い、聞いている人は説明者の言葉のみの情報で図形を描く。両方の条件が終わったら答あわせをする。 A. 言葉だけで伝達(質問不可) (目安2分) B. 言葉だけの対話式伝達(質問可) (目安2分) ③説明者と聞き手を入れ替えて行う。 ④下の空欄に一方的に説明した場合と質問した場合との伝わり方の違いについて気づいたこと記載する。 (3) 注意点 ①プリントに描いてある図が見えないように配布する。クリップボードなどがあるとよい。 ②説明者と聞き手は視覚的な情報がいらないように、聞き手は前を向き、説明者のみが横を向いて説明する。 (可能ならば背中合わせがよいが、声が聞き取りづらくなってしまう可能性がある) 
課題 4 (5 分)	〈個人課題③〉 資料を読んで理解 (1) ねらい ①プレゼンテーションを行うための基礎的な内容を知る。 (2) 内容 ①各自が以下の〈資料②〉を読む。

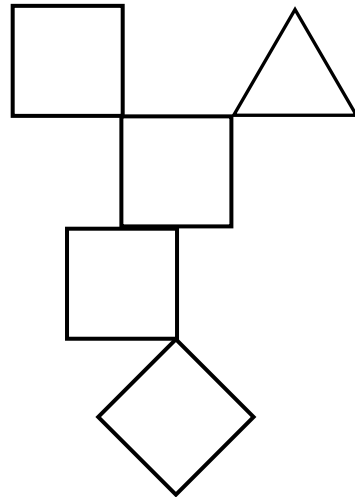
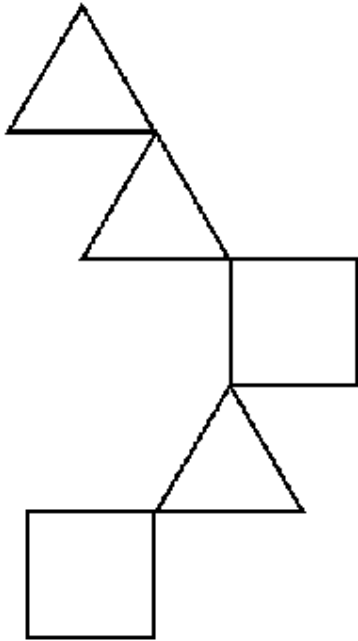
課題 5	〈グループ課題②〉プレゼンテーションを行う。
(25 分)	(1) ねらい ①プレゼンテーションをするときのポイントに注意して、プレゼンテーションを体験する。 (2) 内容 ①4 人グループとなり、次の資料 A, B, C に書いてある内容から 1 つ選び、ほかの 3 人にプレゼンテーションする。まずは、誰がどの文章を担当するかを決める。(4 人グループなので, A, B, C のうち 1 人は他の人と同じ資料をプレゼンテーションする。) ②3 分程度時間を取り、資料を読み、どのようにプレゼンテーションするかをイメージする。 ③各自 1 分程度でプレゼンテーションを行う。 <u>聞いている人はプレゼンテーションしている人がどんなポイントを使っているか想像しながら、じっくり聞く。</u> ④各発表後 2 分程度でどのような点がよかったかを聞いている人から、意見を聞いたり、どんなポイントでプレゼンテーションをしていたかなどの意見交換を行う。
振り返り	リフレクションシートの記入及び回収
(10 分)	

課題 3 で使用するプリント

自分が伝える図形（パターンⅠ）

A. 言葉だけで伝達（質問不可）

B. 言葉だけの対話式伝達（質問可）



課題 3 で使用するプリント

自分が伝える図形（パターン(2)）

A. 言葉だけで伝達（質問不可）

B. 言葉だけの対話式伝達（質問可）

